

宮崎港の役割

宮崎県県央部の流通拠点港

改訂のポイント

内貿ターミナル機能強化と、アジア経済圏で発展する港湾への転換
新たな外貿物流機能の導入

県の基幹産業である林業の振興

南九州の輸入砂の拠点化

石油製品・LNG等の配分基地の進出への対応

内貿ユニットロードターミナル機能の強化

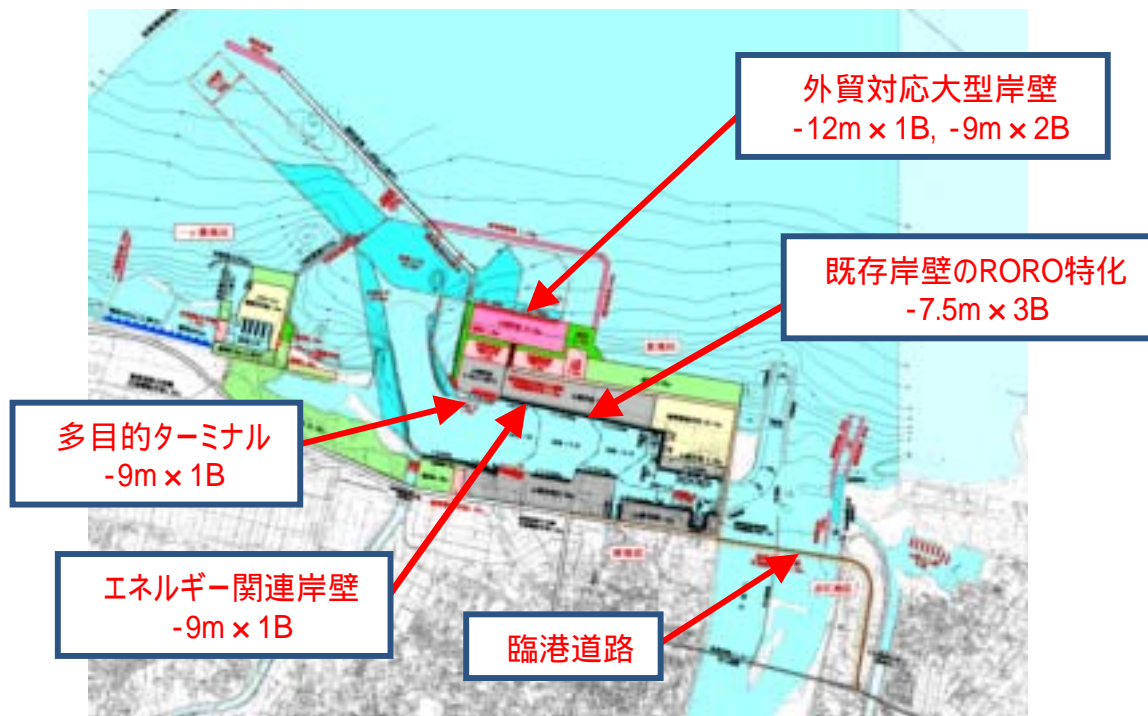
RORO船、内貿コンテナ等への対応による内貿物流の効率化

背後地域との円滑な輸送体系の確保

主要幹線道への接続時間の短縮による利便性の向上

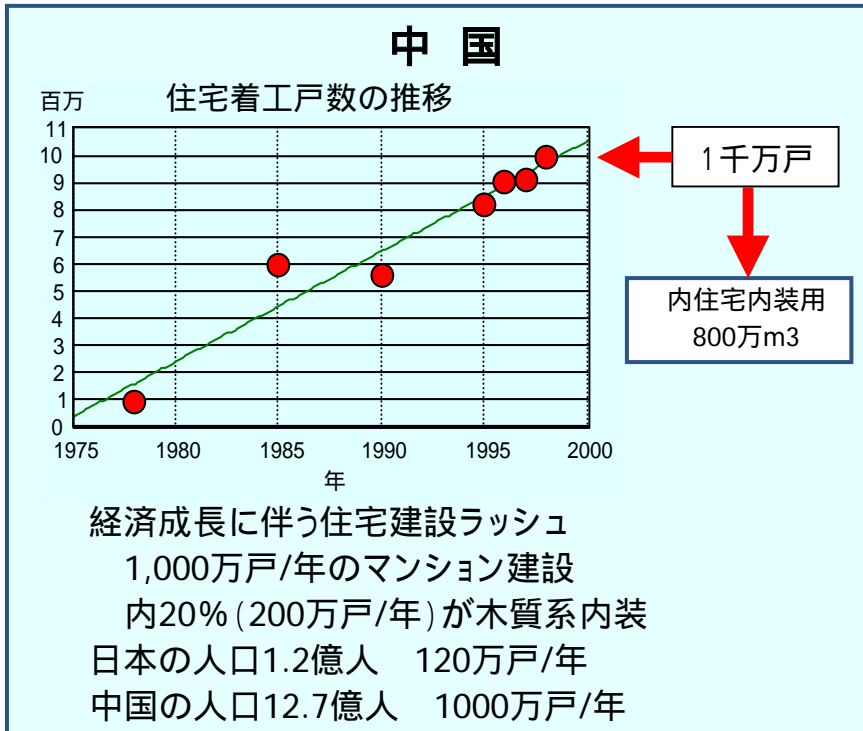


位置



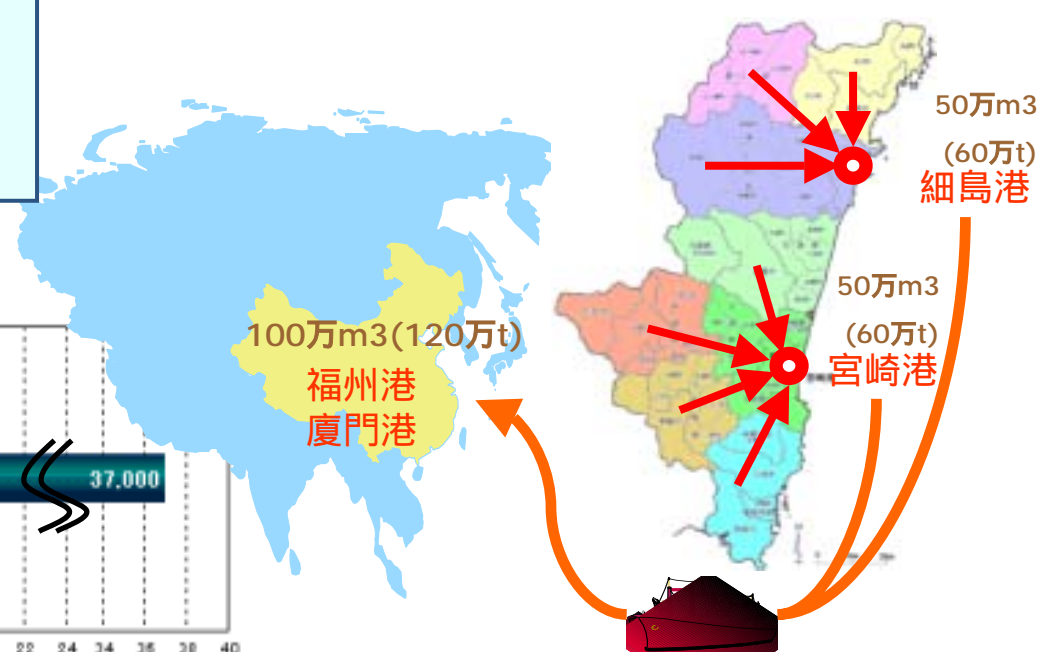
県の基幹産業である林業の振興

内装材として杉を中国へ輸出

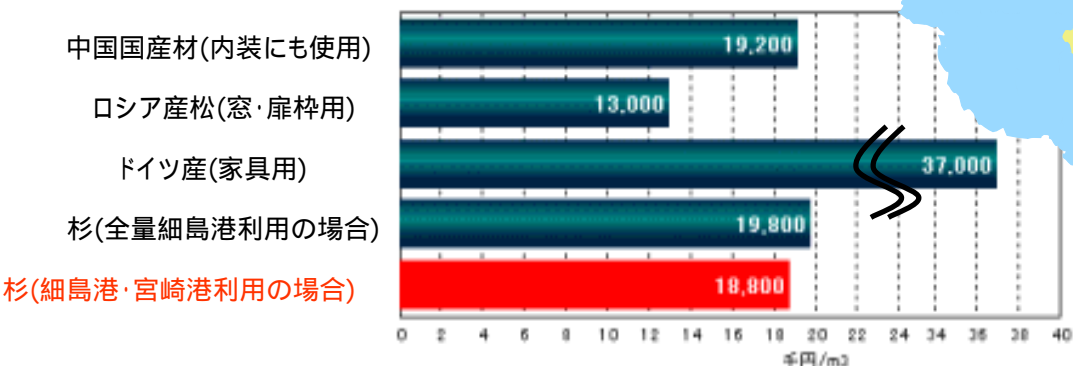


宮崎県

杉生産量97万m³/年で日本一(シェア12%)
国内価格低迷による林業崩壊の危機
林業振興のため100万m³を中国へ輸出
県内の年間杉生長量 200万m³ > 97万m³ + 100万m³
産業振興 生産額156億円増
雇用確保 雇用者1,600人増

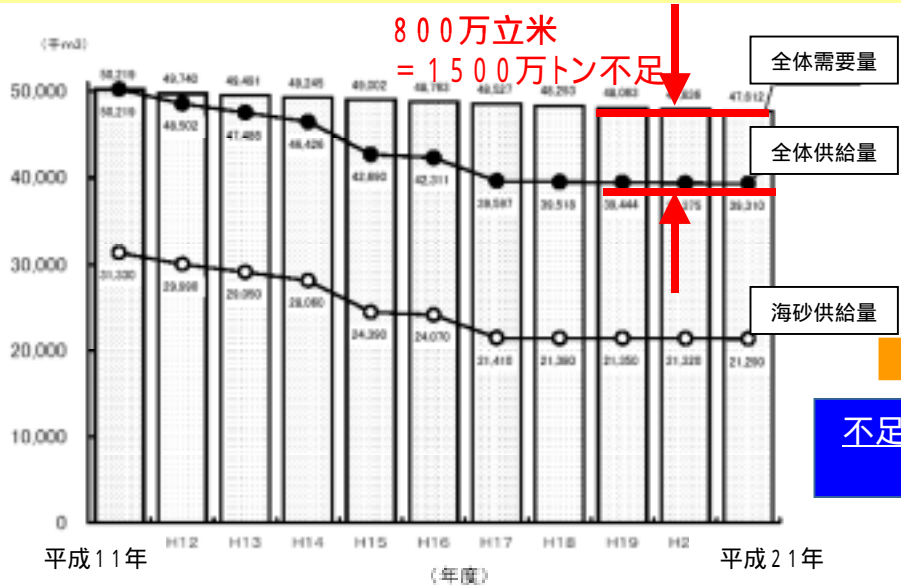


価格比較

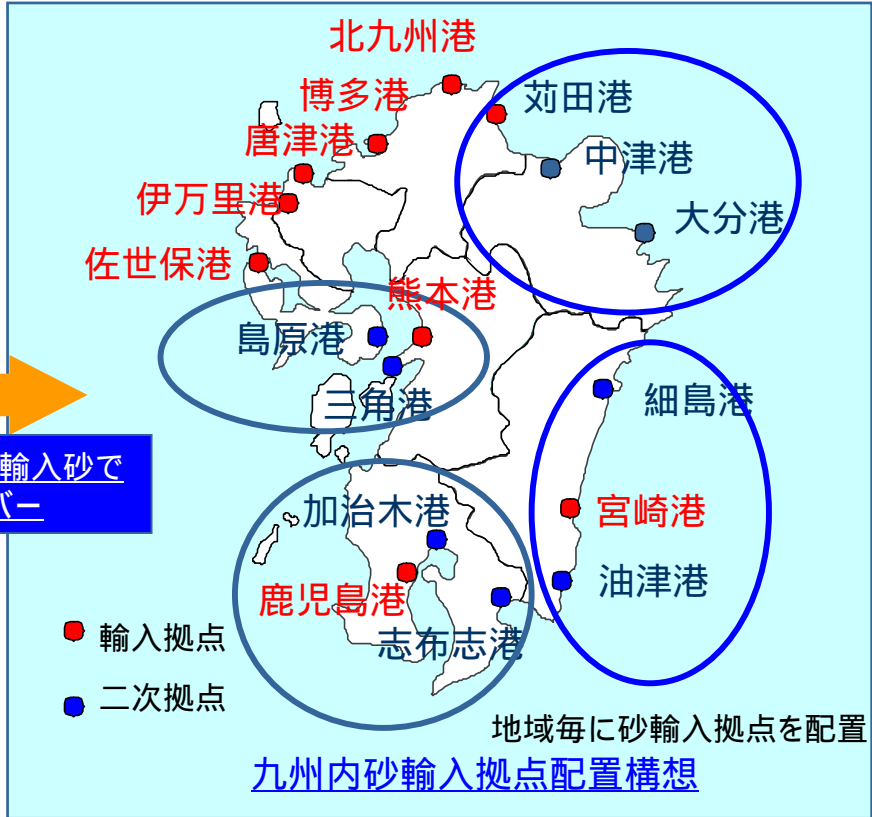


南九州の輸入砂の拠点化

国内砂の採取規制強化に対応し中国から砂を輸入



西日本における砂需給の動向



不足分を輸入砂でカバー

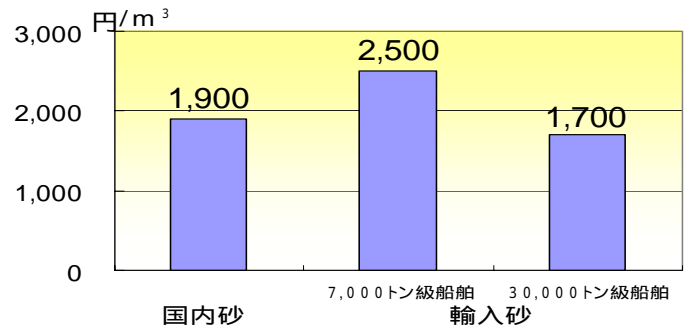
四国、中国地方、**宮崎県**

・・・海砂採取禁止

九州(宮崎県以外)

・・・段階的に採取規制

西日本における採取認可方針



砂の価格比較

石油製品・LNG等の基地建設への対応

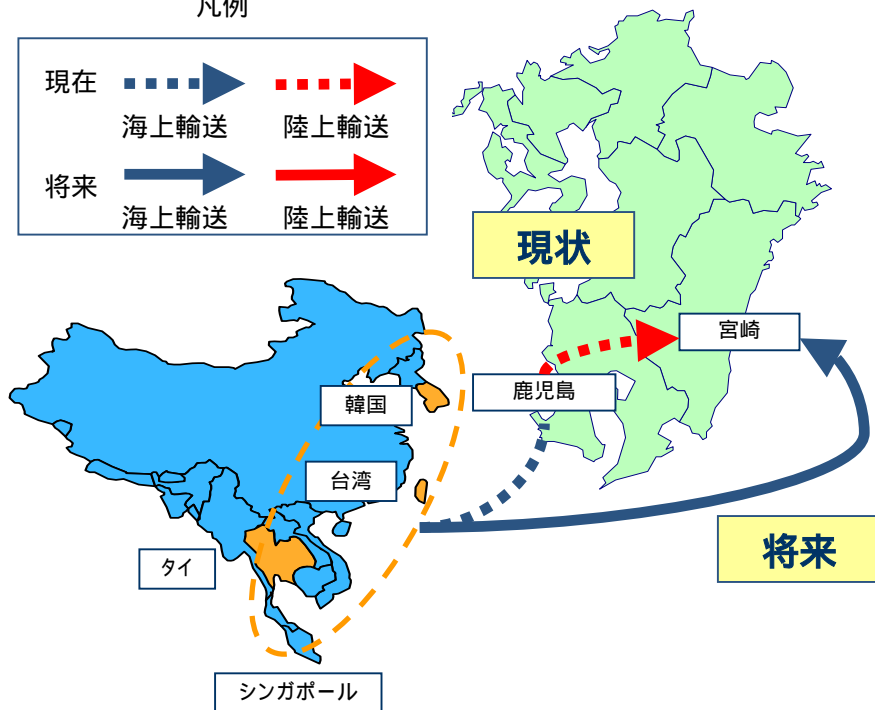
石油製品等

特石法の廃止及び規制緩和による輸入自由化
 石油販売業者による海外の廉価な石油製品等の輸入
 平成15年度より宮崎港に石油基地建設開始
 陸上輸送コストの削減

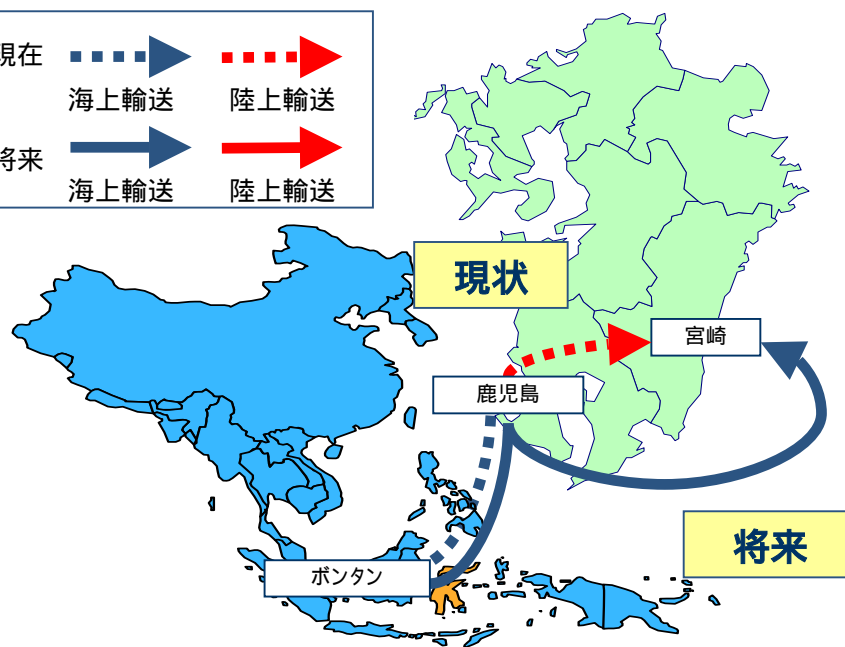
LNG(液化天然ガス)

環境に優しく、埋蔵量豊富な天然ガスへの転換
 天然ガスへの転換率87.2%(全国、都市ガス)
 平成15年度内に宮崎市内のLNG転換完了(都市ガス)
 宮崎港にLNG基地を建設することにより陸上輸送コストの削減を目指す

凡例



凡例



新たな外貿物流機能の効果

輸送費の削減による輸出競争力の強化と、輸入価格の低下



杉原木の陸上輸送費削減

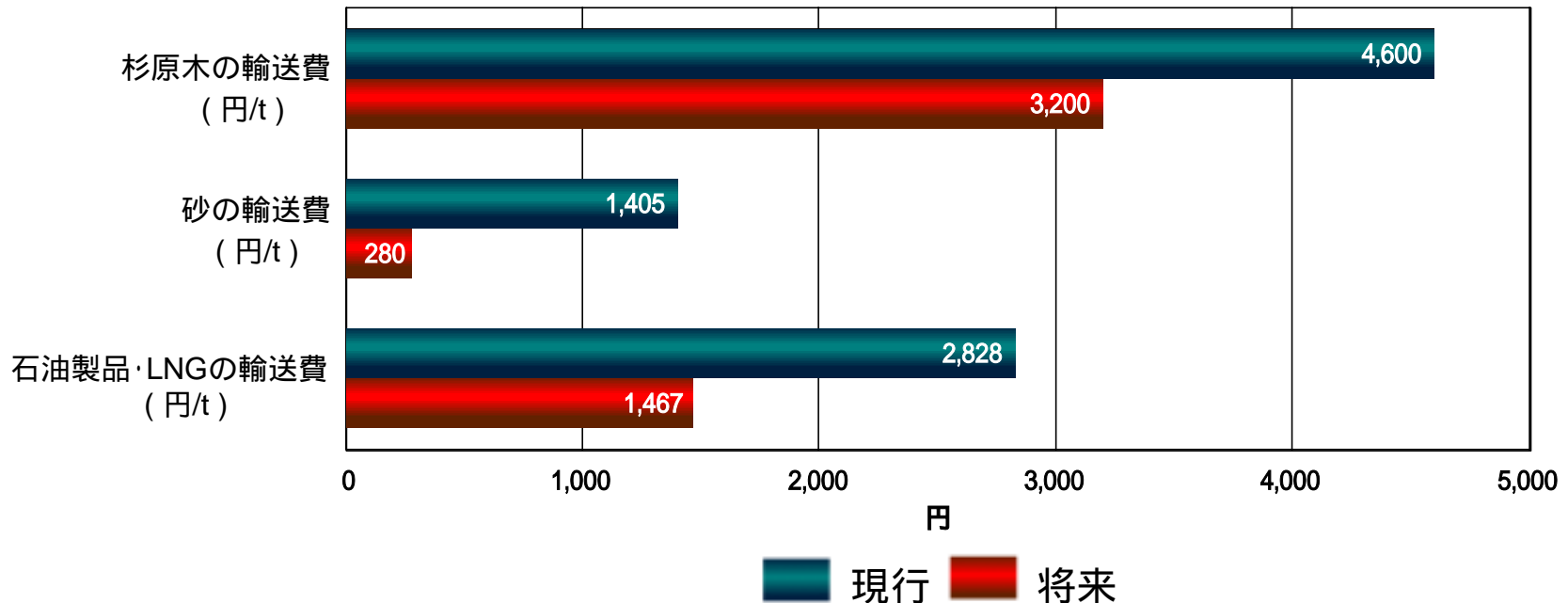
陸上輸送費の削減：5520円/m³(細島港利用) 3870円/m³(細島港・宮崎港併用)

砂・砂利の海上輸送費低減

砂：1405円/t(鹿児島港経由) 280円/t(直送)

石油製品、LNG等の陸上輸送費削減

2828円/kl(鹿児島港から陸送) 1467円/kl(宮崎港から陸送)



背後地域との円滑な輸送の確保

宮崎港と地域高規格道路を直結する臨港道路の整備により、宮崎自動車道宮崎ICや主要幹線へ迅速なアクセスを可能とし、陸上輸送時間の短縮、定時制の確保、利便性の向上を図る。



宮崎港 宮崎IC 30分 10分 20分の輸送時間短縮

貨物の定時輸送確保による宮崎港の利用促進

港湾関連車両のCo2、NOx削減

Co2削減: 24% (520t/年 普通トラック換算) Nox削減: 36% (24t/年 普通トラック換算)

港湾関連車両の市街地流入の回避と沿道環境の改善



計算根拠

コンテナのシフト量

コンテナ貨物量算定の資料として提出済み 214789t/261112t × 100

走行時間便益

道路サイドのB/C計算方式による

臨港道路と一般道の距離は7kmで変わらないものとする

走行時間費用 普通貨物 101.39(円/台・分)

宮崎港～宮崎ICの走行台数 6100台/日

走行時間 未整備時平均30分 整備時平均10分

$101.39(\text{円}/\text{台}\cdot\text{分}) \times (30\text{分} - 10\text{分}) \times 6100\text{台}/\text{日} \times 365\text{日}$

Co2、NOx排出量

港湾マニュアル2-9-32

適用:普通貨物車

速度:未整備時 15km/h 整備時 60km/h

$\text{Co2 } (137.37\text{g}/\text{台}\cdot\text{km} - 103.95\text{g}/\text{台}\cdot\text{km}) \times 7\text{km} \times 6100\text{台}/\text{日} \times 365\text{日}$

$\text{NOx } (4.17\text{g}/\text{台}\cdot\text{km} - 2.65\text{g}/\text{台}\cdot\text{km}) \times 7\text{km} \times 6100\text{台}/\text{日} \times 365\text{日}$

砂運搬費

B/C計算書

未整備時 中国 (3万t) 苅田 + 苅田での積換費 + 苅田 (2千t) 宮崎 = (23109万円 + 55828万円 + 51142万円)/659900t

整備時 中国 (3万t) 宮崎 = 18488万円/659900t

砕石運搬費

未整備時 津久見 (2千t) 宮崎 = 53824万円/694500t

整備時 津久見 (1万t) 宮崎 = 26224万円/694500t

石油製品・LNG

未整備時 鹿児島港谷山 (陸送) 需要家 = 56564円/20kl = 2828円/kl 平均運搬距離110km

整備時 宮崎港陸 (陸送) 需要家 = 29348円/20kl = 1467円/kl 平均運搬距離30km

コスト差 2828円/kl - 1467円/kl = 1360円/kl

住宅着工数

中国統計年鑑の新築面積から、都市部80m²/戸 農村部 200m²/戸として推計